

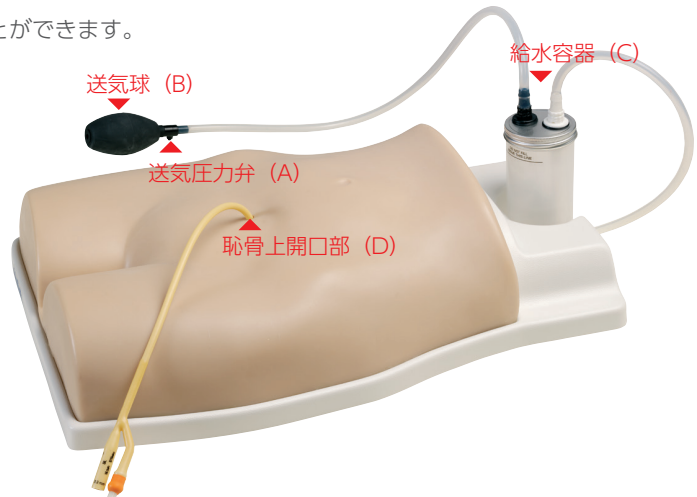
恥骨上カテーテルは、尿道留置カテーテルに代わり多くの病院で広く行われるようになりました。

本製品を使用した実習を行うことにより、患者に対して自信を持って適切な処置を行うことが可能となります。

- カテーテルを下腹部から膀胱に挿入する際の抵抗感を再現しています。
- 導尿のために必要なカテーテルの平均的な長さを知ることができます。
- カテーテルが膀胱に挿入されると水が出てきます。

構成

- 台座付き下腹部トルソ
- プラスチック給水容器
- 送気球（チューブコネクタ付）
- カテーテル（16F）
- キャリーケース



ご使用方法

- ① 容器（C）の蓋を外し、線のところまで水を入れます。
- ② 上記の写真のように、蓋をして本体のベースにはめ込みます。
- ③ 送気球（B）を2回押して、膀胱に十分な水を入れます。
※破損する恐れがありますので、送気球を押している間は圧力弁（A）をふさがらないで下さい。
- ④ 恥骨上開口部（D）にカテーテルを挿入します。
- ⑤ **バルーンを膨らます際は、カテーテルを7cm以上挿入しないでください。構造上狭まっており破裂する場合があります。**
- ⑥ カテーテルから水が出てきます。
（水が出てこない場合、本体の空気を抜くために更に2～3回送気球を押す必要があります）。
※繰り返し実習を行う場合、再度送気球を2回押し膀胱に水を入れてください。
※必要に応じて容器に水を補充してください。

ご使用後の注意

- 本体に残った水は、容器の蓋を外し、本体を斜めに倒してチューブから排出します。
- 本体の内部の水が完全に抜けたことを確認し、必要に応じよく乾かしてください。
- 膀胱からカテーテルを抜いて下さい。カテーテルを留置したままにすると、圧力弁の破損の原因となります。
- 容器は中の水を捨てて、乾かしてください。
- 本体内部を洗浄する場合は、水の代わりに低刺激性洗浄剤を使用して上記のカテーテルトレーニングと同じ手順を繰り返してください。
- 使用後は、付属のキャリーケースに入れて収納してください。
- インクやマーカー類、印刷物と接触すると色移りや汚れ、シミの原因となります。
- **水が入っていない状態で、圧力をかけたり、脱気せずに圧力をかけたままにしないでください。破損や不具合の原因となります。**